事業所名　グループホーム敬和苑
作成日:　平成 26年 1月 21日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期のあり方について事業所の方針はあるが、運営規定内の明文化が不十分である。また、改めて説明する時期が、重度化しうる時期になっている。	重度化や終末期のあり方について、方針や対応などを運営規定内に明文化する。本人及び家族に対して、契約時だけでなく、定期的に説明する機会をつくる。	運営規定内に明文化し、スタッフ全体にそれを認識させる。また、契約時や利用開始の早い時期等の面会に来られた時など、本人及び家族に対して自然な形で説明を行う。	12ヶ月
2	37	災害対策として、非常用備品は同敷地内の特養と共有になっている。	非常用備品がすぐ使用できる体制にする。	同一敷地内の特養等と協力し、事業所内に必要備品を準備する。	12ヶ月
3	51	グループホーム内や同一敷地内の特養等の行事で外出する以外に、散歩や買い物等屋外に出る機会が多くない。	利用者の意向を確認し、体調や気候に配慮し屋外に出る機会をつくる。	定期的に利用者の意向を確認することで、それに合わせて定期的な外出の機会とする。	12ヶ月